

科目名	現代中国経済論	科目コード	1167	単位数	2
担当者名	伊藤 昭男	開講セメスター	第3セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

歴史、風土の違いから中国経済を理解するには、欧米経済とは異なる思考軸を必要とする。本講義では、中国の制度的「曖昧性」の観点から中国経済を理解することがねらいである。

● 到達目標

中国経済における「曖昧性」を理解することによって中国経済・ビジネスの特色を認識できるようにする。
中国経済・ビジネスの特色を欧米や日本と比較できるようにする。

● 授業内容

- 1週目 イントロダクション（講義の概要・方針、テキスト序章、など）
- 2週目 「曖昧な制度」とは何か - 制度をどう捉えるか
- 3週目 「曖昧な制度」とは何か - 「曖昧な制度」をどう捉えるか
- 4週目 「曖昧な制度」はいかに形成されたか - 歴史、風土と社会主義の実権
- 5週目 進化する土地の集団所有 - 請負制から土地株式会社へ
- 6週目 市場なき市場競争のメカニズム - 成長至上主義からの脱却
- 7週目 混合至上主義のガバナンス - ナショナル・チャンピオンを創り出す
- 8週目 中国式イノベーション - 「曖昧な制度」が促進する技術革新
- 9週目 対外援助の中国的特質 - 対外援助の実績と評価。『第1回試験』
- 10週目 対外援助の中国的特質 - グローバル・スタンダードへの挑戦か
- 11週目 腐敗の政治経済学 - 「曖昧な制度」がもたらした成長と腐敗
- 12週目 中国の格差問題を考える - 「曖昧な制度」は格差を拡大したか
- 13週目 中国経済学の展望 - 資本主義の多様性、「中国的なるもの」をめぐって
- 14週目 中国経済学の展望 - 中国経済学の到達点と展望
- 15週目 講義全体の要点復習。『第2回試験』
- 16週目 試験の講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：講義予定に沿って事前にテキストを予習しておくこと（60分）。
- 復習：テキストおよび講義ノートを中心に復習し、要点を把握しておくこと（30分）

● 成績評価の方法・基準

2回の試験結果で評価する。

● 履修上の留意点

成績評価は原則10週以上授業に出席した学生を対象とする。
講義に関する連絡事項はCoursePowerを通じて行うので、その都度確認すること。

● 課題に対するフィードバックの方法

試験の講評を実施する。個人別試験結果については希望する者に対応する。

● テキスト

加藤弘之『中国経済学入門 - 「曖昧な制度」はいかに機能しているか』
（名古屋大学出版会）2016年 4950円

● 参考書

岡本隆司『近代中国史』（ちくま新書 1019）2013年 880円

● 更新日付

2022/03/10 02:25